

2 「教育の日」の制定状況と事業の充実について

都道府県退職校長会のご協力によるアンケート調査集計結果の概略を報告。

1 未制定府県（13府県）の現状（12府県より回答・92%）

- A. 25年度、新たに制定された府県はない。
- B. 制定の見込みが出てきたと1県から回答があった。
- C. 制定の見込みがないのが11府県で、今後も府県教育委員会・現職校長会等への粘り強い働きかけが必要である。

2 教育の日が制定されている都道県（34都道県）の中央大会について（26都道県より回答・93%）

(1) 中央大会実施状況

- A. 中央大会実施（20都道県、77%）
- B. 中央大会無し（6県、23%）

(2) 中央大会実施月日（平成25年度）

11月1日（金）9都道県、11月9日（11月第2土曜日）3県、他8県。（各都道県の制定教育の日を実施する都道県が多い）。

(3) 大会のネーミング

「〇県教育の日」のあとは「推進大会・県民大会・記念式典・フェスティバル等」

(4) 大会の主催者

都県教育委員会（13都県・65%）、〇〇協議会・〇〇委員会等（7県・35%）

(5) 行事の内容

記念講演（17県・85%）、表彰（8県・40%）、児童生徒の舞台発表（4都県・20%）、P T A・おやじの会等の実践発表（2県・10%）、シンポジウム・パネルディスカッション（2県・10%）、教育の日の取組発表（1道）。

(6) 参加人数

1000人以上（4都県・20%）、500~1000人未満（6県・30%）、500人未満（10道県・50%）。教育関係者の参加が多く、児童生徒は表彰・出演等での参加。

3 「教育の日」に関連した、小学校・中学校の関わり

(1) 小・中学校の関連行事（23都道県より回答）

「教育の日」制定の都道県の小学校・中学校では、「都道県教育の日」前後の教育週間・教育月間に、「教育の日」を冠した諸活動を行っている。

小学校：授業参観・学校公開・学習発表会（18都道県・78%）が多く、音楽集会・芸術鑑賞会・バザー・文化祭・家庭のルール作り等が散見される。

中学校：授業参観・学校公開・学習発表会（11都道県・48%）、文化祭（8県・35%）が多く、他に生徒主張発表会・家庭学習などが報告されている。

(2) 学校の負担感

回答のあった23都道県の小・中学校では、「教育の日」に関して行う教育活動は、『現在学校で行っている行事を、この時期に合わせるとか、「冠」をつけて行うなどの対応なので、余り負担を感じていない。』との記述回答があり、負担を感じているとの回答は無かった。



実現「やまがた教育の日・教育月間」

山形県退職校長会

1 平成24年度によろやく「やまがた教育の日」が制定

県教育委員会では、県民一人ひとりの教育に対する関心と理解を深め、学校・家庭及び地域の連携・協力の下、本県教育の充実に向けた取組みを推進することにより、教育を支える文化や風土を育むとともに、未来の山形を担う心豊かでたくましい子ども達を育成するため、11月第2土曜日を「やまがた教育の日」と決めました。また、11月は多くの学校や地域において、学校開放行事や芸術文化にちなんだ行事が実施されていることから、「やまがた教育月間」と定め、県内で実施される教育関連行事を広く紹介し、教育について考える機会となっています。

記念式典は11月10日の山形市山形テルサで、開かれ、相馬周一郎県教育長、吉村美栄子知事の挨拶があり、作家の五木寛之氏の講演やパネルディスカッションを通し、これからの教育の在り方について考えを深めました。今年も、11月9日（土）山形市民会館で鳥越俊太郎氏の「鳥越流ポジティブな人生の生き方」の講演などを中心に盛大に行われました。

2 公募された「『いのち』輝く七つの約束」

昨年（H24/11/10）の記念式典で広く県民から公募された標語が「いのち輝く七つの約束」としてまとめられ、式典の席で紹介されました。

1. よく学ぼう よく聴き よく読み
よく書いて
2. よく遊ぼう 自然の中で のびのびと
3. 手を貸そう 今のあなたに できること
4. ありがとう 感謝の心で つながる絆
5. あいさつは 明るく元気に 自分から
6. 声かけよう わが子と同じ よその子も

7. わが家の約束（各家庭で「わが家の約束」を決めよう！）

3 山形県退職校長会による研修

県退職校長会は、「教育の日」の制定を記念して、会員の「教育の日」を冠とした「おらほの自慢！教育山形の原点を探る」をテーマに研修会を開催しました。この研修会は、県内退職校長会各支部と連携しながら、県内各地に伝わる藩校や私塾の教育活動や教訓から、「やまがたの教育」へ影響を与え基礎・基盤となった事柄や事象、歴史的な背景などを探ることにしました。第1回目は山形市で平成24年11月21日に県退職校長会副会長の武田良一氏から、今に残る藩校の教えや今に生きている民間教育の活動など資料などから分かり易く解説していただきました。その後グループに分かれ話し合いました。第2回目は今年も米沢市に研修会場を移し、11月21日に米沢興譲館高校内に保管されている藩校「興譲館」の史料を大貫英一校長から説明を受けました。その後「伝国の杜」に会場を移し、米沢市の相田実会長から米沢の教育の原点について講話をいただきました。



研修会場

掛川市の「かけがわ教育の日」

静岡県掛川市教育委員会

1 「かけがわ教育の日」の取組

本市の教育構想「人づくり構想かけがわ」の基本目標「夢実現に向かう、心豊かで凜とした市民」を育成するため、市民一人一人が教育の大切さを理解し、それぞれの役割でかかわるとともに、学校、家庭及び地域の人々などが強い絆と深い信頼で結ばれ、市民総参加で教育の振興を図る契機とするため、平成19年度から開催し、本年度で7回目となる。

主催は、「かけがわ教育の日」協力団体協議会（本年度47団体）の代表である実行委員会（12団体代表）と市教育委員会で、毎年11月第3週の土曜日を基本に開催している。内容は、開会行事（表彰等）、基調講演を基本として行っている。

2 本年度の取組

「第7回かけがわ教育の日」は、11月16日（土）に市の文化施設である生涯学習センターにて「お茶の間から広げよう 家族や地域のぬくもりを」をテーマに開催。約750人の一般市民、児童・生徒、保護者、教職員、関係団体等が参

加し、司会は市内高校生2人が務め、三部構成で行った。

第一部は、オープニングアトラクションとして小4児童による地域の偉人を紹介するオペレッタを行い、開会行事後、家族への感謝の気持ちを40字以内でまとめた「世界一短いメッセージ」の表彰、本年度「私の描くお茶の間像」を市民に募集し、応募作品を基に策定した「かけがわお茶の間宣言」（案）を発表した。

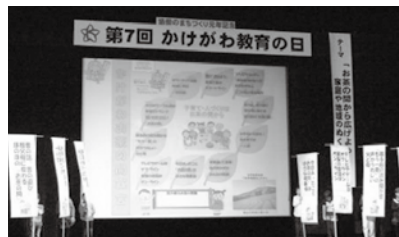
第二部は、東京家庭教育研究所佐藤カヨ氏を講師にお迎えし、「見つめてみよう 私の子育て」の演題で基調講演を行った。

第三部は、講師をコーディネーターとし、パネリストの市民4名（国立大学教育学部教授、元校長、市社会教育委員、中学校区地域コーディネーター）と子育てに焦点を当て、パネルディスカッションを行った。

会場ホールの外には、市内園・小中学校の地域との連携活動の取組を紹介する展示や協力団体の活動紹介展示、各地の二宮金次郎像写真を展示した報徳写真展を行った。



オープニングアトラクション



「かけがわお茶の間宣言」（案）発表



会場の様子



基調講演



パネルディスカッション



展示物コーナー

「教育の日」の制定状況 (平成25年12月現在)

— 34都道県、96市、60町、7村、1区 —

○北海道地区 制定 北海道

(北海道) 石狩市 岩見沢市 小樽市 帯広市 苫小牧市 函館市 砂川市 稚内市
滝川市 赤平市 白老町 豊頃町 本別町 幕別町 月形町 今金町
陸別町 大樹町 池田町 浦幌町 上砂川町 音更町 中札内村

○東北地区 制定 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 福島県 山形県

(青森県) 野辺地町
(秋田県) 大館市 男鹿市
(山形県) 上市市 新庄市 天童市 山形市 山辺町 朝日町
(福島県) 浅川町

○関東甲信越地区 制定 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 東京都 長野県

(茨城県) ひたちなか市 土浦市 守谷市 稲敷市 牛久市 龍ヶ崎市 筑西市
結城市 阿見町 河内町 利根町 茨城町 大洗町 城里町 東海村
美浦村
(群馬県) 前橋市 渋川市 藤岡市 沼田市 明和町
(埼玉県) 白岡町
(千葉県) 佐倉市 銚子市 野田市 南房総市 鋸南町
(東京都) あきる野市 葛飾区
(山梨県) 甲府市 中央市

○東海北陸地区 制定 石川県 岐阜県 静岡県

(静岡県) 掛川市
(福井県) 福井市 敦賀市
(三重県) 四日市市 亀山市 菰野町 朝日町 川越町

○近畿地区 制定 滋賀県 兵庫県 奈良県 和歌山県

(滋賀県) 栗東市
(奈良県) 奈良市
(和歌山県) 和歌山市 海南市 橋本市 有田市 田辺市 新宮市 岩出市
紀の川市 紀美野町 かつらぎ町 九度山町 高野町 広川町 由良町
有田川町 美浜町 日高町 みなべ町 印南町 白浜町 上富田町
すさみ町 串本町 那智勝浦町 太地町 古座川町 湯浅町 日高川町
北山村

○中国地区 制定 島根県 岡山県 広島県 山口県 鳥取県

(鳥取県) 鳥取市 南部町
(広島県) 三原市
(山口県) 美祢市 萩市 防府市 宇部市 和木町

○四国地区 制定 徳島県 香川県 愛媛県 高知県

(徳島県) 美馬市 三好市 鳴門市 つるぎ町
(高知県) 安芸市 三原村

○九州地区 制定 長崎県 熊本県 大分県 鹿児島県 宮崎県

(福岡県) 筑後市 宗像市 八女市 糸島市
(佐賀県) 嬉野市 唐津市 多久市 神崎市 小城市 佐賀市 伊万里市 武雄市
玄海町
(熊本県) 八代市 荒尾市 宇土市 宇城市 合志市 大津町 美里町 和水町
氷川町
(大分県) 宇佐市 国東市 佐伯市 津久見市 日田市 豊後高田市 別府市
玖珠町 九重町 姫島村
(宮崎県) 串間市 日向市 日南市 宮崎市 宮崎市高岡町
(沖縄県) 浦添市 宮古島市 那覇市 石垣市 糸満市 南城市 名護市
うるま市 南風原町 西原町 伊是名村

*上記中、岐阜県は「教育週間」、静岡県は「家庭教育の日」、兵庫県は「兵庫の教育推進月間」、長崎県は「長崎っ子の心をつめる教育週間」、鹿児島県は「地域が育む“かごしまの教育”県民週間」、宮崎県は「みやざきこども教育週間」と呼ぶ。

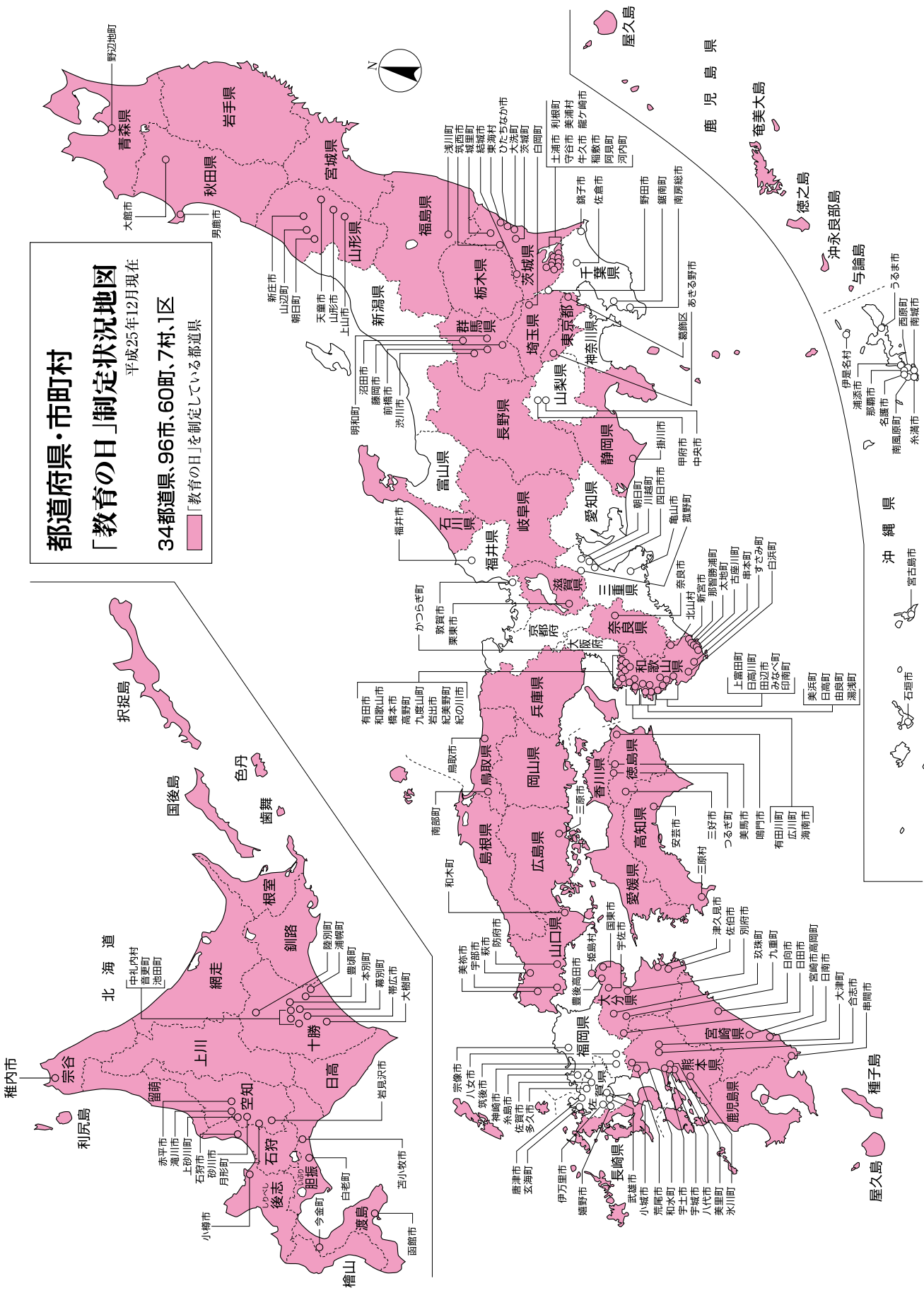
都道府県・市町村

「教育の日」制定状況地図

平成25年12月現在

34都道県、96市、60町、7村、1区

■「教育の日」を制定している都道県



沖縄県

宮古島市

石垣市

種子島

屋久島